

山形市コミュニティファンド補助事業



Yamagata City
Community Fund

令和4年度

募集要項

公開プレゼンテーション補助

【募集期間】

令和4年4月1日（金）～ 4月28日（木）

山形市コミュニティファンド公式ホームページ
<https://www.yamagata-cf.jp>



山形市

はじめに

山形市コミュニティファンド（市民活動支援基金）は、みなさまからの善意による「寄附」を市民活動団体が行う公益的な活動への支援として結ぶ仕組みです。市民活動団体の継続的・自発的な活動を推進し市民の福祉の増進・向上を図るため、平成 20 年 4 月に設置しました。

このファンドを活用して、地域社会の抱える課題解決に向けて取り組む事業を募集し、補助します。市民活動の特性である先駆性、専門性、柔軟性、地域性などを活かした事業をご提案ください。

応募団体の資格

次の全てに該当する団体とします。（法人格の有無は問いません）

- ① 市民が主体となって、継続的、自発的に地域社会に役立つ活動を行う団体で、山形市内で原則 1 年以上にわたり継続的に活動していること
- ② 主たる活動の区域が山形市内にあること
- ③ 団体の事務を行う場所を山形市内に有すること
- ④ 組織の運営に関する規則（定款、規約、会則等）を有し、責任者が明確であり、団体として独立した経理（予算及び決算）を行っていること
- ⑤ 市税を滞納していないこと（法人のみ）
- ⑥ 宗教活動、政治活動、選挙活動を主目的とする団体でないこと
- ⑦ 特定の公職者又は政党を推薦、支持、反対することを目的とする団体でないこと
- ⑧ 暴力団又は暴力団・その構成員の統制下にある活動を目的とする団体でないこと
- ⑨ 無差別大量殺人行為を行なった団体の規制法による処分を受けている団体又はその構成員の統制下にある団体でないこと
- ⑩ 事業の内容にかかわらず、3 年間連続して公開プレゼンテーション補助に採択されていないこと

募集する事業の要件

募集する事業の要件として、下記の①～⑥の要件を満たす必要があります。

- ① 社会の抱える課題の解決に向けて自発的に取り組むこと
- ② 原則、新規事業であること
- ③ 山形市内を中心に行うこと
- ④ 特定の団体や地域のための利益になるものではないこと
- ⑤ 市民活動（※）であること

※市民活動とは … 特定非営利活動促進法第 2 条第 1 項に規定する活動

例：保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、観光、農山漁村又・中山間地域振興、学術・文化・芸術・スポーツ振興、環境保全、災害救援、地域安全、人権擁護・平和推進、国際協力、男女共同参画、子どもの健全育成、情報化、科学技術、経済活動、職業能力・雇用機会拡充、消費者保護、市民活動支援 の分野のいずれかに該当し、不特定かつ多数のもの利益の増進に寄与することを目的として活動するもの。

⑥ 「山形市発展計画2025」の重点政策（※）のいずれかに関連すること

※山形市発展計画2025とは … 山形市の基本的な方針や重点政策を定める計画

重点政策：健康の保持・増進、健やかな子どもの育成、地域共生社会の実現、創造都市の推進、地域経済の活性化、山形ブランドの浸透と交流の拡大、都市の活動を支える基盤整備、環境保全、チャレンジできる環境の創出、広域連携の推進、協働の推進、行財政改革の推進、アフターコロナにおける地方創生の推進

【注意事項】

事業実施の際は、必ず、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を行ってください。

実施事業の補助対象期間

令和4年4月1日～令和5年2月28日

※ただし、公開プレゼンテーション当日以前に終了する事業については、応募することはできません。

補助金額

【補助総額】 300万円以内

【補助金額】 1団体あたり 40万円以内

※補助金の金額は、支出合計額から参加料収入や補助金で作成する印刷物の頒布収入など補助事業実施による収入を除いた額と40万円とを比較して、いずれか低い金額以内の額となります。

補助対象経費

事業実施に直接要する次の経費となります。

収支予算書の支出の補助対象経費の「費目」欄には以下の区分欄の費目を記入します。

区分	内容
謝金等	外部の講師等に係る経費 ※実施団体構成員を除く
賃金	事業当日に事業実施者のみで運営が困難な場合の臨時雇い賃金等（荷物運搬アルバイト、会場設営スタッフ等） ※実施団体構成員を除く
旅費	外部講師等の交通費及び宿泊費（市外のみ：ただし、一件審査とする）
食糧費	事業を展開する上で必要となる飲食代（ただし、パーティー参加者の飲食代の補填、懇親会や団体内部での打合せ等への使用は不可）
印刷製本費	事業の募集案内、ポスター、パンフレット、各種資料等の印刷費
広告料	新聞・雑誌・インターネット等の広告掲載料等
消耗品・材料費	材料・消耗品（機材・備品に該当する物品を除く）等の購入費

通信運搬費	宅配、郵送料等
使用料・賃借料	施設・会議室等の使用料
機材・備品費	事業に必要不可欠なもので1品あたりの価格が1万円以上（税込）の物品等の購入費（ただし、補助額の上限は3万円までとする）
保険料	ボランティア保険等
その他	上記に該当しない経費で、団体自らが行うことが困難な場合の設備等整備費や委託料等

※なお、次の経費は補助対象外となる場合があります。

- ・パソコンやプリンター、USBメモリ、調理器具等、この度の応募事業以外でも使用することができる汎用性の高い物品等の購入に係る経費
- ・ポイントカード、ギフト券等で購入した物

※書籍類の購入については、総数10冊以内かつ総額3万円以内とします。

応募方法

所定の用紙に必要な事項を記入のうえ、山形市企画調整課の窓口へ直接ご持参ください。なお、ご提出の際、事業内容についてのヒアリングがあります。（所要時間30分程度）

(1) 募集期間

令和4年4月1日（金）～4月28日（木）午後5時15分まで

(2) 提出書類

- ① 支援申込書
- ② 事業計画書
- ③ 収支予算書
- ④ 事業のPR及び団体概要書
- ⑤ 事業スケジュールと実施体制
- ⑥ 他の補助金等に関する申告書
- ⑦ 添付書類（A4版）

①定款、規約又は会則

②最新の役員名簿

③その他（パンフレット、会報などの団体の資料等）

※①～⑥の様式については、山形市企画調整課の窓口での配布のほか、山形市コミュニティファンドホームページ（<https://www.yamagata-cf.jp>）からダウンロードできます。

※⑦の①②③についてはA4版とし、書式は自由です。また山形市認証のNPO法人について①②は提出不要です。③は原則、2枚（両面刷りの場合は1枚）までです。

(3) 提出先

6ページ参照。

(4) 注意事項

- ・同年度における分野補助へは、事業計画・予算ともに同一の事業に限り同時に応募が可能です。ただし、分野補助で採択された場合、公開プレゼンテーション補助への応募は自動的に取り消し扱いとなります。
- ・応募団体または応募事業が資格または要件を満たさないと認められる場合は、審査の対象外となります。
- ・応募事業が新たに取り組む事業と認められない場合は審査の対象外となります。
- ・郵送やファックス、Eメールでの応募は受理できませんのでご注意ください。
- ・応募できる事業数は1団体あたり1事業です。団体名が違う場合でも、所在地や代表者又は構成員における重複の程度等により、同一団体と見なす場合があります。
- ・提出された書類や団体資料等は返却できません。必要な場合はコピー等の対応をお願いします。

審査方法

「山形市コミュニティファンド評議委員会」（以下、「評議委員会」）による選考会議において、公開プレゼンテーションへの出場を認められた事業（団体）が公開プレゼンテーションに臨み、市民審査員（公募）による投票の結果をもとに、市長が補助対象事業を決定します。

(1) 評議委員会による書類審査（第1次審査）

- ・評議委員会にて、応募書類に基づく審査を行います。
- ・公開プレゼンテーション（第2次審査）に出場する事業を選考します。

(2) 公開プレゼンテーション（第2次審査）

- ・評議委員会による書類審査において公開プレゼンテーションへの出場を認められた団体が、市民審査員が参加する場で事業内容の説明（プレゼンテーション）を行います。説明後、市民審査員が投票を行い、その投票結果をもとに補助対象事業を決定します。
- ・時 期：令和4年7月9日（土）（予定）
- ・場 所：未定

※なお、公開プレゼンテーションの詳細については、後日決まり次第お知らせします。

※公開プレゼンテーション終了後、採択団体向けの説明会を実施予定です。（30分～1時間程度）

【審査のポイント】

①実行可能性	計画の洗練度、協力体制・人員体制の充実度、活動実績等
②実施効果	市民への効果・恩恵・インパクトの度合い、地域課題の解決度等
③経費の妥当性	事業計画と予算の整合性、積算根拠の妥当性・明瞭度等
④独自性・先進性	事業の希少性・先進性、創意工夫度、団体が持つ強みの発揮度等
⑤波及効果・継続性	事業効果の継続・発展の可能性、市民の意識啓発度等

交付申請及び補助金の交付

- ・補助事業に採択された団体については、すみやかに補助金交付申請を行ってください。
- ・補助金は銀行振込により交付します。補助金の交付申請までに、団体名義（任意団体の場合は、団体名を冠した代表者名義）の通帳をご用意ください。
- ・補助金は、原則概算払いにより交付し、補助事業終了後の実績報告を受けて精算します。

実績報告

対象となる事業終了後、次の書類を提出いただきます。（詳細は採択団体にお知らせします。）

（１）提出書類

- ①実績報告書
- ②事業成果報告書
- ③収支決算書
- ④補助対象経費の支出が分かる帳簿等（領収書一覧、領収書）の写し
- ⑤成果物（チラシ、ポスター、写真等：A4版とし、書式は自由）

※必要に応じて補助事業の遂行状況や事業の成果について、現地調査を行います。

※補助事業の中止や適正に実施できない場合は、補助金の一部または全額を返還していただきます。また、実績報告書等が提出されない場合も同様の扱いとなります。

情報公開・情報提供

この事業の「公正性」、「透明性」を確保するため、選考結果及び補助事業の成果等については、その都度、Webサイトなどにより公表いたします。

補助事業のフローチャート

①事業の公募	令和4年4月1日（金）から4月28日（木）まで
②評議委員会による書類審査 （第1次審査）	6月1日（水）（予定）
③第1次審査結果の通知	6月中旬（予定）
④公開プレゼンテーション参加団体説明会	6月中旬（予定）
⑤公開プレゼンテーションの準備	7月8日（金）まで
⑥公開プレゼンテーションリハーサル	7月8日（金）（予定）
⑦公開プレゼンテーション （第2次審査）	7月9日（土）（予定）
⑧補助事業採択団体への説明会	7月9日（土）（予定） （公開プレゼンテーション終了後）

⑨補助金交付申請	7月下旬(予定)
⑩補助金交付決定	8月上旬(予定)
⑪補助金交付(概算払)	8月下旬(予定)
⑫事業の実施期間	令和4年4月1日(金)～令和5年2月28日(火)まで
⑬実績報告作成説明	11月～12月(予定)
⑭実績報告書の提出	提出期限:令和5年2月17日(金) (ただし、事業終了日が同2月11日～同2月28日までの場合は、提出期限:同3月2日(木)[最終])

提出先・お問合せ先

山形市 企画調整部 企画調整課 協働推進係

〒 990-8540 山形市旅籠町二丁目3番25号 4階

T E L : 023-641-1212 (内線 222・223)

F A X : 023-623-0703

E-Mail: kikaku@city.yamagata.yamagata.lg.jp

開庁時間: 午前8時30分から午後5時15分まで(土日祝日を除く)

※申込書等は窓口へ直接ご持参ください。



—山形市コミュニティファンド—
令和4年度 支援申込書（公開プレゼンテーション補助）

令和 年 月 日

山形市長

〒

所在地 _____

団体名 _____

代表者役職・氏名 _____

※連絡先氏名 _____ 電話番号 _____

E-mail _____

補助希望金額	円
<p>事業に関連する政策について○印を付けてください。（下表の左欄：複数可） そのうち、最も関連する政策について1つだけ◎を付けてください。</p>	
山形市発展計画2025重点政策	左記にかかる市民活動の種類
健康の保持・増進	保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、観光、学術・文化・芸術・スポーツ振興、災害救援、地域安全、男女共同参画、子どもの健全育成、情報化、科学技術、経済活動、消費者保護
健やかな子どもの育成	保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、地域安全、人権擁護・平和推進、子どもの健全育成、情報化、科学技術
地域共生社会の実現	保健・医療・福祉、まちづくり、地域安全、人権擁護・平和推進、職業能力・雇用機会拡充
創造都市の推進	まちづくり、観光、学術・文化・芸術・スポーツ振興
地域経済の活性化	社会教育、まちづくり、観光、農山漁村又・中山間地域振興、学術・文化・芸術・スポーツ振興、環境保全、科学技術、経済活動、職業能力・雇用機会拡充
山形ブランドの浸透と交流の拡大	まちづくり、観光、農山漁村又・中山間地域振興、学術・文化・芸術・スポーツ振興、国際協力、経済活動、職業能力・雇用機会拡充
都市の活動を支える基盤整備	まちづくり、観光、環境保全、災害救援 地域安全、消費者保護
環境保全	まちづくり、環境保全、地域安全、消費者保護
チャレンジできる環境の創出	社会教育、まちづくり、環境保全、科学技術、経済活動、職業能力・雇用機会拡充
広域連携の推進	保健・医療・福祉、まちづくり、観光、農山漁村又・中山間地域振興、環境保全、災害救援、地域安全、男女共同参画、子どもの健全育成、科学技術、経済活動、職業能力・雇用機会拡充、消費者保護、市民活動支援
協働の推進	まちづくり、地域安全、人権擁護・平和推進、男女共同参画、市民活動支援
行財政改革の推進	まちづくり、災害救援、情報化
アフターコロナにおける地方創生の推進	保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、観光、地域安全、男女共同参画、子どもの健全育成、情報化、科学技術、経済活動、職業能力・雇用機会拡充、消費者保護

下記事項に相違ない場合は□に✓を記入してください。

	市税を滞納していないこと（法人のみ）
	宗教活動、政治活動、選挙活動を主目的とする団体でないこと
	特定の公職者又は政党を推薦、支持、反対することを目的とする団体でないこと
	暴力団若しくは暴力団・その構成員の統制下にある活動を目的とする団体でないこと
	無差別大量殺人行為を行なった団体の規制法による処分を受けている団体又はその構成員の統制下にある団体でないこと
	事業の内容にかかわらず、3年間連続して公開プレゼンテーション補助に採択されていないこと

※上記事項に違反する事実が認められた場合は、事業の採択を取り消す場合があります。

添付書類の確認		※添付書類をご確認ください。
	事業計画書	
	収支予算書	
	事業のPR及び団体概要書	
	事業スケジュールと実施体制	
	他の補助金等に関する申告書	
	定款・規約・会則等	山形市認証NPO法人は不要です(変更がある場合は提出が必要です)。
	役員名簿・会員名簿	コミュニティファンド登録団体は不要です。
	その他団体の活動内容が分かるもの	団体紹介チラシ等 ※任意提出です。(A4版2枚まで)

【事務局記載欄】

申込み先（事務局）
 山形市企画調整部企画調整課
 山形市旅籠町二丁目3番25号 4階
 TEL：023-641-1212（内線222・223）

事業計画書

団体名	
-----	--

事業名	
補助希望額	円
事業の目的と内容	
事業の実施計画	
来年度以降の見通し	
補助事業を行なうことにより期待される効果	

補助金の使途		補助金以外の事業経費	
項目・使途	金額	項目・使途	金額
小 計		小 計	
		合 計（総事業費）	

収 支 予 算 書

		費 目	金 額	備 考	
		収入			
	合計額				
		費 目	金 額	備 考	
		支出	補助対象経費		
	小計				
補助対象外経費					
		小計			
	合計額				

事業のPR及び団体概要書

～補助を希望する事業のPR～

～ 団体のご紹介 ～	
団体名	
団体の住所	〒
代表者の役職・氏名	
団体の目的	
団体の設立年月日 NPO法人の場合は 法人設立の日を併記	(法人成立の日： 年 月 日)
会員数	
主な活動場所	
団体のPRと これまでの活動実績	
直近事業年度の支出額	
E-Mail	
ホームページ	

他の補助金等に関する申告書

今年度における当団体の活動について、山形市コミュニティファンドによる補助を申請するにあたり、山形市及び他の公的機関からの補助金（助成金）の交付状況に関して、以下のとおり申告します。

1 今年度について、山形市や他の公的機関からの補助金の交付状況についてご記入ください。

【いずれかに○をつけてください】

- 補助を受けていない 補助を受けている
 申請中のところがある 申請予定がある

※「補助を受けていない」と答えた場合は、以上で終了です。

2 1で「補助を受けている」「申請中のところがある」「申請予定がある」と答えた方にお聞きします。
相手先の公的機関名、補助金の名称、補助額、各補助金の用途についての概要をお書きください
(複数の申請先で領収書などが重複しないことが分かるように記入してください)。

公的機関名	
補助金・助成金の名称	
補助額	
コミュニティファンドからの補助金の用途	
コミュニティファンド以外からの補助金・助成金の用途	

年 月 日

団体名： _____

代表者役職氏名： _____

記入例

—山形市コミュニティファンド—

令和4年度 支援申込書（公開プレゼンテーション補助）

提出日を記入します。
※4月1日～4月28日まで

令和●年●月●日

山形市長

〒990-8540

応募団体の住所、名称、代表者職・氏名・連絡先を記入します。

所在地 山形市旅籠町 2-3-25

団体名 山形100年プロジェクト実行委員会

代表者役職・氏名 代表 協働 太郎

※連絡先氏名 協働 太郎 電話番号 023-641-1212

連絡先氏名等については、今後、問い合わせ窓口となる方を記入します。

E-mail kikaku@city.yamagata-yamagata.lg.jp

補助希望金額

300,000円

事業に関連する政策について○印を付けてください。（下表の左欄：複数可）
そのうち、最も関連する政策について1つだけ◎を付けてください。

山形市発展計画2025重点政策

左記にかかる市民活動の種類

健康の保持・増進

保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、観光、学術・文化・芸術・スポーツ振興、災害救援、地域安全、男女共同参画、子どもの健全育成、情報化、科学技術、経済活動、消費者保護

健やかな子どもの育成

保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、地域安全、人権擁護・平和推進、子どもの健全育成、情報化、科学技術

地域共生社会の実現

保健・医療・福祉、まちづくり、地域安全、人権擁護・平和推進、職業能力・雇用機会拡充

創造都市の推進

まちづくり、観光、学術・文化・芸術・スポーツ振興

○ 地域経済の活性化

社会教育、まちづくり、観光、農山漁村又・中山間地域振興、学術・文化・芸術・スポーツ振興、環境保全、科学技術、経済活動、職業能力・雇用機会拡充

山形ブランドの浸透と交流の拡大

まちづくり、観光、農山漁村又・中山間地域振興、学術・文化・芸術・スポーツ振興、国際協力、経済活動、職業能力・雇用機会拡充

◎ 都市の活動を支える基盤整備

まちづくり、観光、環境保全、災害救援
地域安全、消費者保護

○ 環境保全

まちづくり、環境保全、地域安全、消費者保護

チャレンジできる環境の創出

社会教育、まちづくり、環境保全、科学技術、経済活動、職業能力・雇用機会拡充

広域連携の推進

保健・医療・福祉、まちづくり、観光、農山漁村又・中山間地域振興、環境保全、災害救援、地域安全、男女共同参画、子どもの健全育成、科学技術、経済活動、職業能力・雇用機会拡充、消費者保護、市民活動支援

協働の推進

まちづくり、地域安全、人権擁護・平和推進、男女共同参画、市民活動支援

行財政改革の推進

まちづくり、災害救援、情報化

アフターコロナにおける地方創生の推進

保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、観光、地域安全、男女共同参画、子どもの健全育成、情報化、科学技術、経済活動、職業能力・雇用機会拡充、消費者保護

下記事項に相違ない場合は□に✓を記入してください。

✓	市税を滞納していないこと（法人のみ）
✓	宗教活動、政治活動、選挙活動を主目的とする団体でないこと
✓	特定の公職者又は政党を推薦、支持、反対することを目的とする団体でないこと
✓	暴力団若しくは暴力団・その構成員の統制下にある活動を目的とする団体でないこと
✓	無差別大量殺人行為を行なった団体の規制法による処分を受けている団体又はその構成員の統制下にある団体でないこと
✓	事業の内容にかかわらず、3年間連続して公開プレゼンテーション補助に採択されていないこと

※上記事項に違反する事実が認められた場合は、事業の採択を取り消す場合があります。

添付書類の確認		※添付書類をご確認ください。
✓	事業計画書	
✓	収支予算書	
✓	事業のPR及び団体概要書	
✓	事業スケジュールと実施体制	
✓	他の補助金等に関する申告書	
✓	定款・規約・会則等	山形市認証NPO法人は不要です(変更がある場合は提出が必要です)。
✓	役員名簿・会員名簿	コミュニティファンド登録団体は不要です。
✓	その他団体の活動内容が分かるもの	団体紹介チラシ等 ※任意提出です。(A4版2枚まで)

【事務局記載欄】

申込み先（事務局）
 山形市企画調整部企画調整課
 山形市旅籠町二丁目3番25号 4階
 TEL：023-641-1212（内線222・223）

記入例

事業計画書

団体名	山形100年プロジェクト実行委員会
事業名	山形100年プロジェクト
補助希望額	300,000円
事業の目的と内容	<p>山形の鮮やかな四季を舞台に、自然と人々の営みが共鳴しあって育んできた様々な地域資源を活かし、100年後もいきいきと輝き続ける山形市の実現を目的として「山形100年会議」を開催する。</p> <p>山形の魅力を熟知する山形市内外の有識者を講師やパネリストとして招いて「山形100年会議」（基調講演及びパネルディスカッション）を行うことにより、山形市の地域資源をもう一度再認識するとともに、山形市の地域資源が繰り返し洗練され世界に発信し続けるといった循環型の仕組みを探求する。</p> <p>また、会議終了後に懇親会を開催し、有識者と様々な価値や知識、技術を持つ参加者による情報交換を促し、新たな価値の創出を狙う。</p>
事業の実施計画	<p>■打合せ（10回予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開催時期 6月～11月 ○場所 ●▲■会議室 ○内容 <ul style="list-style-type: none"> ・周知、広報について ・会議の概要、場所・日時について ・実績報告書提出について 他 ○補助対象経費 <ul style="list-style-type: none"> ・使用料 20,000円 ・印刷製本費 11,000円 <p>■周知・広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チラシ、ポスターの配布 <ul style="list-style-type: none"> ・配布時期 8月下旬～9月上旬 ・配布先 山形市内公民館・コミュニティセンター、各種店舗等50箇所 ・配布枚数 ポスター計50枚、チラシ1000枚 ○広告掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・掲載日 9月（○○新聞） ○補助対象経費 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 77,000円 ・広告料 50,000円 <p>■参加者募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ○募集期間 9月1日～30日 ○募集人数 70名 ○参加受付 電話、FAX、e-mailによる申込 <p>■会議開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開催日時 10月中旬 ○開催場所 ○○ホテル ○参加者数 80名（懇親会50名） ○開催内容 <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 <ul style="list-style-type: none"> [演題] 誰もが羨む外から見える山形の地域資源 [講師] ○○ ○○氏 ・パネルディスカッション <ul style="list-style-type: none"> [テーマ] 地域資源が好循環する仕組みづくり

実施する事業内容の詳細（日時、場所、参加人数、具体的内容、支出する経費等）を時系列で記入します。また、経費の記載は収支予算書と整合性を取ります。

	<p>[パネリスト]</p> <p>●● ●●氏、■■ ■■氏、▲▲ ▲▲氏</p> <p>・懇親会</p> <p>○補助対象経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謝金 80,000円 ・旅費 30,000円 ・使用料 50,000円 ・消耗品・材料費 5,000円 ・印刷製本費 22,000円 <p>○補助対象外経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食費（懇親会）150,000円（会費により徴収） <p>■各種精算・支払及び報告書作成</p> <p>○時期 10月17日～11月30日</p>
来年度以降の見通し	<p>団体の目的である100年後もいきいきと輝き続ける山形市を実現するため、「地域資源発掘ガイドの作成」、「やまがたファンクラブの開設」等、来年度以降も活動的に事業を展開する。</p>
補助事業を行なうことにより期待される効果	<p>基調講演において、100年後もいきいきと輝き続ける山形市の実現に向けて、山形の鮮やかな四季により自然と人々の営みが共鳴しあって育んできた山形市の様々な地域資源について認識することができる。</p> <p>また、パネルディスカッションにおいては、地域資源が繰り返し洗練され世界に発信し続けるための様々なアイデアの提案が促進され、循環型の仕組みを構築するための足がかりとすることができる。</p> <p>さらに、懇親会では有識者と様々な知識や経験を持つ参加者が情報交換を行い、異なる価値観や技術が融合し、今後新たな価値の創出が期待される。</p>

補助金の使途		補助金以外の事業経費	
項目・使途	金額	項目・使途	金額
謝金等	80,000	飲食費	150,000
旅費	30,000		
印刷製本費	110,000		
広告料	50,000		
消耗品・材料費	5,000		
使用料・賃借料	70,000		
小計	345,000	小計	150,000
		合計（総事業費）	495,000

記入例

収 支 予 算 書

		費 目	金額	備 考
収入		山形市補助金	300,000	
		参加者負担金	150,000	懇親参加費 3,000円×50人
		自己資金	45,000	
		合計額	495,000	事業計画書に記載した内容と整合性を取ります。
支出	補助対象経費	謝金等	80,000	〇〇 〇〇氏 50,000円 ●● ●●氏 10,000円 ■ ■ ■ ■氏 10,000円 ▲ ▲ ▲ ▲氏 10,000円
		旅費	30,000	〇〇 〇〇氏分 [交通費] 東京⇄山形20,000円 [宿泊費] 1泊 10,000円
		印刷製本費	110,000	・打合せ用資料コピー代 11,000円 11円×10枚×10部×10回 ・チラシ製作費 44,000円 44円×1,000枚 ・ポスター製作費 33,000円 660円×50枚 ・パンフレット製作費 22,000円 220円×100枚
		広告料	50,000	新聞広告料 (9月1日掲載分)
		消耗品・材料費	5,000	懇親会用ネームプレート 50円×100個 (参加者・スタッフ用)
	補助対象外経費	使用料・賃借料	70,000	・打合せ使用分 会議室使用料 20,000円 2,000円×10回 ・会場使用料 (山形100年会議) 50,000円
		小 計	345,000	
		飲食費	150,000	懇親会飲食費 3,000円×50人分
		小 計	150,000	
		合計額	495,000	

収入、支出の合計額は同額。

募集要項に記載されている下記の費目(区分)を記入します。

- ◆謝金等
- ◆貸金
- ◆旅費
- ◆食糧費
- ◆印刷製本費
- ◆広告料
- ◆消耗品・材料費
- ◆通信運搬費
- ◆使用料・賃借料
- ◆機材・備品費
- ◆保険料
- ◆その他

収入、支出の合計額は同額。

記入例

事業のPR及び団体概要書

～補助を希望する事業のPR～

山形100年プロジェクト実行委員会では、山形の鮮やかな四季を舞台に、自然と人々の営みが共鳴しあって育んできた様々な地域資源を活かし、100年後もいきいきと輝き続ける山形市を実現するため、平成〇〇年より山形市内を中心に活動してきました。

今回実施する「山形100年会議」では、山形の鮮やかな四季が織り成す自然と人々の営みが共鳴しあって育んできた様々な地域資源について再認識し、その地域資源が繰り返し洗練され世界に発信できる循環型の仕組みを築きたいと考えております。

この会議を実施するにあたり、様々な知識や経験を持つ参加者が繋がることで、異なる価値観や技術が融合し、今後新たな価値の創出が期待されます。

～ 団体のご紹介 ～

団体名	やまがたひやくねんぷろじえくとじっこういいんかい 山形100年プロジェクト実行委員会
団体の住所	〒990-8540 山形市旅籠町2-3-25
代表者の役職・氏名	代表 協働 太郎
団体の目的	山形の鮮やかな四季を舞台に、自然と人々の営みが共鳴しあって育んできた様々な地域資源を活かし、100年後もいきいきと輝き続ける山形市を実現する。
団体の設立年月日 NPO法人の場合は 法人設立の日を併記	平成〇〇年〇月〇日 (法人成立の日： 年 月 日)
会員数	10人
主な活動場所	山形市内
団体のPRと これまでの活動実績	山形の鮮やかな四季を舞台に、自然と人々の営みが共鳴しあって育んできた山形市が持つ様々な地域資源をもう一度再認識（発見）して、そして磨き上げるといった活動を継続して実施していきます。 【これまでの活動】 平成〇〇年から“山形100年プロジェクト推進活動として、持続可能な循環型社会を目指し、100年後もいきいきと輝き続ける山形の地域資源を発掘するための活動を行ってきた。 【助成金などの実績】 平成〇年度に〇〇〇財団の〇〇〇助成金を受け、〇〇〇活動を実施した。 【その他】 平成〇年〇月〇日に団体の活動が〇〇新聞の夕刊で取り上げられた。
直近事業年度の支出額	800,000円
E-Mail	kikaku@city.yamagata-yamagata.lg.jp
ホームページ	https://www.yamagata-cf.jp

定款・規約等から抜粋して記入します。

記入例

事業スケジュールと実施体制

【事業スケジュール】

令和●年●月●日現在

年月日	場所	内容	備考
令和4年6月	●▲■会議室	打合せ	①役割分担等について
令和4年6月	●▲■会議室	打合せ	②会議概要について
令和4年7月	●▲■会議室	打合せ	③会議概要について
令和4年7月	●▲■会議室	打合せ	④周知・広報等について
令和4年8月	●▲■会議室	打合せ	⑤周知・広報等について
令和4年8月		チラシ・ポスター配布	
令和4年9月		新聞広告掲載	
令和4年9月1日 ～30日		参加者募集	
令和4年8月	●▲■会議室	打合せ	⑥会議内容精査
令和4年9月	●▲■会議室	打合せ	⑦会議内容精査
令和4年10月	●▲■会議室	打合せ	⑧会議内容精査
令和4年11月	●▲■会議室	打合せ	⑨最終打合せ
令和4年12月	〇〇ホテル	山形100年会議開催	
令和5年1月	●▲■会議室	打合せ	⑩実績報告書提出について

【補助事業の実施体制】

氏名	性別	年代	職業	補助事業における役割
協働 太郎	男	40代	公務員	事業総括
〇〇 ▲▲	女	40代	公務員	事務・会計
〇〇 ▲▲	男	60代	無職	広報・周知担当
〇〇 ▲▲	男	60代	農家	広報・周知担当
〇〇 ▲▲	女	50代	農家	広報・周知担当
〇〇 ▲▲	女	70代	会社員	広報・周知担当
〇〇 ▲▲	男	30代	会社員	会場担当
〇〇 ▲▲	女	40代	教職員	会場担当
〇〇 ▲▲	男	60代	無職	会場担当
〇〇 ▲▲	女	20代	学生	会場担当
〇〇 ▲▲	男	20代	学生	会場担当

記入例

他の補助金等に関する申告書

今年度における当団体の活動について、山形市コミュニティファンドによる補助を申請するにあたり、山形市及び他の公的機関からの補助金（助成金）の交付状況に関して、以下のとおり申告します。

1 今年度について、山形市や他の公的機関からの補助金の交付状況についてご記入ください。

【いずれかに○をつけてください】

- 補助を受けていない 補助を受けている
 申請中のところがある 申請予定がある

※「補助を受けていない」と答えた場合は、以上で終了です。

2 1で「補助を受けている」「申請中のところがある」「申請予定がある」と答えた方にお聞きします。

相手先の公的機関名、補助金の名称、補助額、各補助金の用途についての概要をお書きください（複数の申請先で領収書などが重複しないことが分かるように記入してください）。

公的機関名	〇〇省（国）
補助金・助成金の名称	〇〇〇活動補助金
補助額	300,000円
コミュニティファンドからの補助金の用途	山形100年会議開催に要する経費（当該事業）
コミュニティファンド以外の補助金・助成金の用途	地域資源発掘ガイド作成費用

令和●年●月●日

団体名：山形市100年プロジェクト実行委員会

代表者役職氏名：代表 協働 太郎